

【職業実践専門課程認定後の公表様式】

令和 2年 9月 30日※1  
(前公表年月日:令和 年 月 日)

職業実践専門課程の基本情報について

Table with columns for school name, location, course name, and various statistics. Includes sections for 'School Information', 'Course Details', 'Enrollment', 'Academic Objectives', 'Performance Evaluation', 'Career Support', and 'Economic Support'.

(留意事項)

1. 公表年月日(※1)  
最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた日以降の日付を記入し、前公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況(※2)

「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業者の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科生第596号)」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。  
(1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における「就職率」の定義については  
①「就職率」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含みません。  
②「就職希望者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。  
※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年度中に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学部、歯学部、獣医学部、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。  
(2)「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義については  
①「就職率」に占める就職者の割合とは、全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいいます。  
②「就職」とは給料、賃金、報酬その他定期的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う)。  
(3)上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進

3. 主な学修成果(※3)

認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等)について記載します。

1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1) 教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

名古屋美容専門学校が専攻分野に関する企業、団体等との連携体制を確保して、職業教育の水準の維持向上を図るための教育課程編成委員会について必要な事項を定めるのを目的としている。

(2) 教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

教育課程編成委員会の意見は、教務委員会でカリキュラム化が審議され、学内最高意思決定機関である運営委員会で学内意見としてまとめられる。さらに理事会審議を経て教育課程表の変更が決定される。

(3) 教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和2年9月30日現在

名前	所属	任期	種別
中野 亮	株式会社ラパンセ	2019年4月1日～2021年3月31日(2年)	③
加藤 万寿夫	株式会社コンフェティ	2019年4月1日～2021年3月31日(2年)	①
越中 洋人	株式会社ライセンスアカデミー	2019年4月1日～2021年3月31日(2年)	②
塚本 紀之	名古屋美容専門学校 校長	2019年4月1日～2021年3月31日(2年)	
前田 利夫	名古屋美容専門学校 教務主任	2019年4月1日～2021年3月31日(2年)	

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ① 業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ② 学会や学術機関等の有識者
- ③ 実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4) 教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回 (7～9月、11～1月)

(開催日時(実績))

第1回 令和元年9月3日 9:45～12:15

第2回 令和元年11月26日 12:30～14:30

第3回 令和2年10月6日 12:30～14:30

(5) 教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

- ① サロンを退職しない美容師を育成するための職業意識の形成に関連した授業展開をすること
- ② ボランティア、心理学、人間関係論など人間性育成に関連した授業を新設すること

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

建学の精神『豊かな知性と誠実な心を持ち社会に貢献できる人材を育成する』の実現のため、学内授業だけではなく企業と連携をして教育提携を結び、社会ニーズ並びにサロンで求められる技術、センス、マナーなどを学生に示すことで職業教育を展開する。

(2) 実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

インターンシップを授業科目『キャリアデザインⅠ』において1年生の5日間(30時間)で実施している。卒業後のサロンワークを想定し、就職活動にも活かしている。インターンシップを通してサロンワークを実感し、職業意識や社会人としてのマナー、心構え等を習得すること内容としている。評価は経済産業省社会人基礎力の12項目を基準とし、5段階の総合評価をサロン側に行っている。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。		
科目名	科目概要	連携企業等
キャリアデザイン I	インターンシップを通して啓発的体験を行う。	HAIR ICI、AXIS、(有)アッシュ、art-lover株式会社、(有)あーきぺん他(112社)別紙様式2-1参照

### 3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針  
 ※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記  
 名古屋美容専門学校の専任教員に対し、その職責、経験及び適性に応じた教員資質の向上を目的として、「教員研修に関する規程」に基づき、毎年専攻分野研修、学生に対する指導力向上研修、学校・学級マネジメント研修などを計画的に実施する。

#### (2) 研修等の実績

##### ① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名「教員資格認定研修会」(連携企業等: 公益社団法人 日本理容美容教育センター )  
 対象: 美容師の免許を受けた後、美容所において実務に従事した期間が4年以上になる者。 1名参加  
 内容・期間: 保健教員認定研修 令和元年10月28日(月)～11月13日(水) 土日祝除く

##### ② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名「メンタルヘルス研修」(名古屋美容専門学校主催: 臨床心理士・スクールカウンセラー 竹村 真先生 )  
 期間: 令和2年3月31日(金) 対象: 全教員14名  
 内容: ①セルフメンタルヘルストレーニング ②メンタル不調学生への対応 ③メンタル不調学生の親への対応  
 研修名「管理者研修会」(一般社団法人 職業教育・キャリア教育財団 全国専修学校各種学校連合会・全国専門学校協会 主催)  
 期間: 令和元年12月6日(金) 対象: 役職者1名  
 内容: 私立学校法の一部改正に伴う学校運営ならびに専門学校入試革命

#### (3) 研修等の計画

##### ① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名「ネイル認定研修」(日本理容美容教育センター主催 : コロナ禍で中止 )  
 期間: 令和3年2月ごろ 対象: 担当者2名  
 内容: ネイルの認定講師の研修

##### ② 専攻分野における実務に関する研修等

研修名「メイクアップスキル研修」(名古屋美容専門学校主催: メイクアップアーティスト、有限会社代表 木村直美先生 )  
 期間: 令和3年2月15日(月) 対象: 全教員14名  
 内容: 最近のメイクの特徴、商品特徴・商品比較、TPOに合わせたメイク実習

##### ③ 指導力の修得・向上のための研修等

研修名「働く人を守るメンタルヘルスマネジメント」(名古屋美容専門学校主催: 臨床心理士・公認心理師 花井 博先生)  
 期間: 令和3年3月25日(木) 対象: 全教員14名  
 内容: メンタル不調学生の特徴、職場のストレスや人間関係、それに対応するメンタルヘルスマネジメント

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

学校が策定した重点目標、計画の実施についての自己評価結果、評価結果に基づく今後の取組方針などについて、学校関係者自らが学校見学や教職員・学生やステークホルダーとなる関係業界・卒業生と対話を行い、教育活動・学校運営等に係る課題を共有し、今後の方向性等に対する助言等をいただいています。学校関係者委員は業界関係者(1名以上)、卒業生(1名以上)、教育に関する知見を有する者(1名以上)、在学生の保護者(1名以上)、その他学校長が必要と認めた者(1名以上)で構成されます。学校長は、自己評価の結果を本校教職員で組織する運営委員会に報告し、適宜、教育活動・学校運営等に反映させていきます。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	学校の理念・目的・育成人材像、職業教育の特色など
(2) 学校運営	運営方針・事業計画の適正、人事・給与の整備、地域社会等に対するコンプライアンスなど
(3) 教育活動	教育課程の編成、教育方法、授業・成績評価方法など
(4) 学修成果	就職率・資格取得率の向上、退学率の低減など
(5) 学生支援	進路・就職の支援体制・学生相談の整備、課外活動・保護者・卒業生への支援体制など
(6) 教育環境	施設・設備の整備、インターンや海外研修等の教育体制の整備、防災対策など
(7) 学生の受入れ募集	学生募集活動の適正、学納金の妥当性
(8) 財務	財務基盤の安定性、予算・収支計画の妥当性など
(9) 法令等の遵守	法令、専修学校設置基準などの適正、個人情報保護の保護、自己評価の改善
(10) 社会貢献・地域貢献	教育資源や施設を活用した社会貢献、ボランティア活動、公開講座など
(11) 国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

- ①委員から求める人材として「技術とともに精神的な強さも欲しい」との意見があり、令和2年3月と令和3年3月(予定)に全教員を対象にメンタルヘルスに関する研修を実施した。
- ②サロン委員から「早期退職の新入社員については情報共有とともにフォローをしてもらえると助かる」との意見が出た。職場の不満を言えずに悩む新入社員も多く、学校では卒業生情報を職員会議で共有し、精神的フォローに努めるとともにサロン側へ情報提供をする場合もある。サロンとの信頼関係の構築にも繋がっている。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和2年9月30日現在

名前	所属	任期	種別
中野 亮	株式会社ラパンセ	2019年4月1日～2021年3月31日(2年)	関連業界
加藤 万寿夫	株式会社コンフェティ	2019年4月1日～2021年3月31日(2年)	関連業界
越中 洋人	株式会社ライセンスアカデミー	2019年4月1日～2021年3月31日(2年)	教育の知見者
片山 真由美	在校生保護者	2019年4月1日～2021年3月31日(2年)	保護者
蟹江 咲帆	有限会社 ナイス サロン SOMDAY	2019年4月1日～2021年3月31日(2年)	卒業生

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(公表方法:ホームページ ・ 公表時期:委員会終了後随時 )

URL:

<https://www.nagoyabiyo.ac.jp/nyugaku/infopub>

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

本校カリキュラムポリシー「本校の職業教育により、美湯尾氏に必要な基礎知識や技術、高度な専門知識や技術、社会生活における規範やコミュニケーション技術、芸術、文化など幅広い教養を身に付けることにより、社会人、専門技術者としての心構えや自覚を促す」を共有し、残額連携で美容師養成を実践する。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	法人名、建学の精神、役員名簿、沿革、学校名、校長、所在地、連絡先等
(2) 各学科等の教育	在 student 数、卒業生数、カリキュラム、国家試験合格率等
(3) 教職員	教職員数、教員担当科目一覧、2020教職員組織
(4) キャリア教育・実践的職業教育	就職までのスケジュールと体制、就職データ、主な就職先
(5) 様々な教育活動・教育環境	学年暦、キャンパスライフ
(6) 学生の生活支援	担任制、保護者面談会、保護者就職説明会
(7) 学生納付金・修学支援	学費、奨学制度
(8) 学校の財務	学校法人の財務
(9) 学校評価	自己点検評価委員会・規程、学校関係者評価委員会・規程
(10) 国際連携の状況	なし
(11) その他	学則、教育課程編成委員会・規程、教員研修に関する規程、施設・設備

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他( ) )

URL:<https://www.nagoyabiyo.ac.jp/nyugaku/infopub>

## 授業科目等の概要

(衛生専門課程美容学科)																
	分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
	必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
1	○			関係法規・制度	衛生行政、美容師法など、美容にかかわる法律、制度について学ぶ	2年	30	1	○	△		○			○	
2	○			衛生管理Ⅰ	美容所における公衆衛生、予防衛生、環境対策について学ぶ	1年	30	1	○	△	△	○			○	○
3	○			衛生管理Ⅱ	美容所における感染症、消毒方法などについて学ぶ	2年	60	2	○	△	△	○			○	○
4	○			保健Ⅰ	人体の構造と機能について学ぶ	1年	30	1	○	△		○			○	
5	○			保健Ⅱ	皮膚や毛髪などを健康に保つ方法や皮膚疾患などを学ぶ	2年	60	2	○	△		○			○	
6	○			香粧品化学Ⅰ	香粧品概論・香粧品用原料・基礎科学などを学ぶ	1年	30	1	○	△		○				○
7	○			香粧品化学Ⅱ	基礎香粧品・メイクアップ香粧品・頭皮・毛髪用香粧品・芳香製品と特殊香粧品などを学ぶ	2年	30	1	○	△		○				○
8	○			文化論	国内外の美容ファッション移り変わりや美容デザインに重要な造形、歴史などを学ぶ	1年	60	2	○	△		○				○
9	○			美容技術理論Ⅰ	美容使用する器具・基礎技術・頭部・頸部及び顔部技術などを学ぶ	1年	90	3	○	△	△	○			○	
10	○			美容技術理論Ⅱ	特殊技術（エステ・ネイルなど）・和装技術・美容デザインなどを学ぶ	2年	60	2	○	△	△	○			○	
11	○			運営管理	マーケティングの基本理論や経営管理、労務管理、接客法など事例を交えて学ぶ	1年	30	1	○	△		○			○	
12	○			美容実習Ⅰ	器具の取り扱い実習・基礎技術・頭部、顔部及び頸部技術練習・国家試験課題などを学ぶ	1年	450	15	○	△	△	○			○	

13	○		美容実習Ⅱ	総合実習・技術の応用・国家試験課題などを学ぶ	2年	450	15	○	△	△	○	○						
14	○		トータルビューティ基礎	着付・メイク・エステ・ネイルの基礎技術を学ぶ	1年	120	4	○	△	△	○	○						
15		○	サロンヘアスタイル	美容師としてもっとも大切なお客様へのサロンスタイルの技術や流行について学ぶ	2年	60	2	○		△	○	○						
16		○	モードヘアスタイル・フォトシューティング	クリエイティブな創作活動やフォトコンテストのための技術に加えて、写真撮影や画像処理までを学ぶ	2年	60	2	○		△	○	○						
17		○	ヘアメイク	メイク技術に加えて、広告・スチール撮影等様々な状況に応じた上級メイクを修得。メイクアップの撮影についても学ぶ	2年	60	2	○		△	○	○						
18		○	ジェルネイル	ネイリストとして活躍できるジェルやネイルアートの上級技術の修得とINA主催の検定対策を行う	2年	60	2	○		△	○	○						
19		○	着付・ブライダル	着付やヘアセット、メイクの修得に加えて、AWP検定や着付け検定の取得も可能	2年	60	2	○		△	○	○						
20		○	ヘアアレンジ・デザインヘアカラー	ヘアカラーリストとしての上級技術に加えて、デザイン性の高いヘアアレンジの技術を修得	2年	60	2	○		△	○	○						
21		○	エステ・まつ毛エクステ	フェイス&ボディエステ技術の修得とアイデザイナーになるためのまつエク技術の両方を学ぶ	2年	60	2	○		△	○	○	○					
22		○	パーソナルカラー・ヘアケアマイスター	美容師として活躍する上での役立つ、権威あるヘアケアマイスター検定や、色彩を学ぶパーソナルカラー検定を修得	2年	60	2	○		△	○	○	○					
23	○		キャリアデザインⅠ	美容業界で働くための実践的なキャリア教育、就職活動で行かせる能力を高める自己理解と職業理解を深めて就職に対する意識を高める	1年	90	3	○	△		○	○	○	○				○
24	○		キャリアデザインⅡ	美容業界で働くための実践的なキャリア教育、就職活動で行かせる能力を高める企業で必要とされる社会人・美容師としての心構えを醸成する	2年	30	1	○	△		○	○						
25	○		コミュニケーションⅠ	人間関係やビジネスに役立つコミュニケーションの方法を身に付けるコミュニケーション検定を取得する	1年	90	3	○	△		○	○						
26	○		コミュニケーションⅡ	意思疎通を図りお互いの考えを理解する人との繋がりを行事を通して体感する行事後、自分の取り組みを客観的に分析する	2年	60	2	○	△		○	○						
27		○	デッサン	デッサンをとおして正確な物の見方、分析力向上、デッサンの基礎技術を学ぶ発想力や表現力を身に付ける	1年	30	1	○			○	○						

28	○	マナービジネス	マナービジネスを学び社会常識とサービス専門知識を知る	1年	30	1	○			○		○	
29	○	英会話	実際に外国の人と会話ができるようになる事 美容室に来客する外国人とのコミュニケーション力	1年	30	1	○			○		○	
30	○	福祉	美容と福祉のつながりを理解し、正しい知識を身につける 社会福祉知識の理解と体を使って人間の動き・機能を知る	1年	30	1	○			○		○	
合計				科目				2400単位時間( 80 単位)					

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
「卒業・進級・留年に関する規程」に卒業要件（在学2年以上、67単位以上の修得、必修科目と所定の選択必修科目の履修及び単位修得、学納金の完納）を明記、卒業審査会の議を経て学校長が卒業を認定します。履修方法は各科目シラバスに記載されている。		1学年の学期区分	2期
		1学期の授業期間	20週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3（3）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。